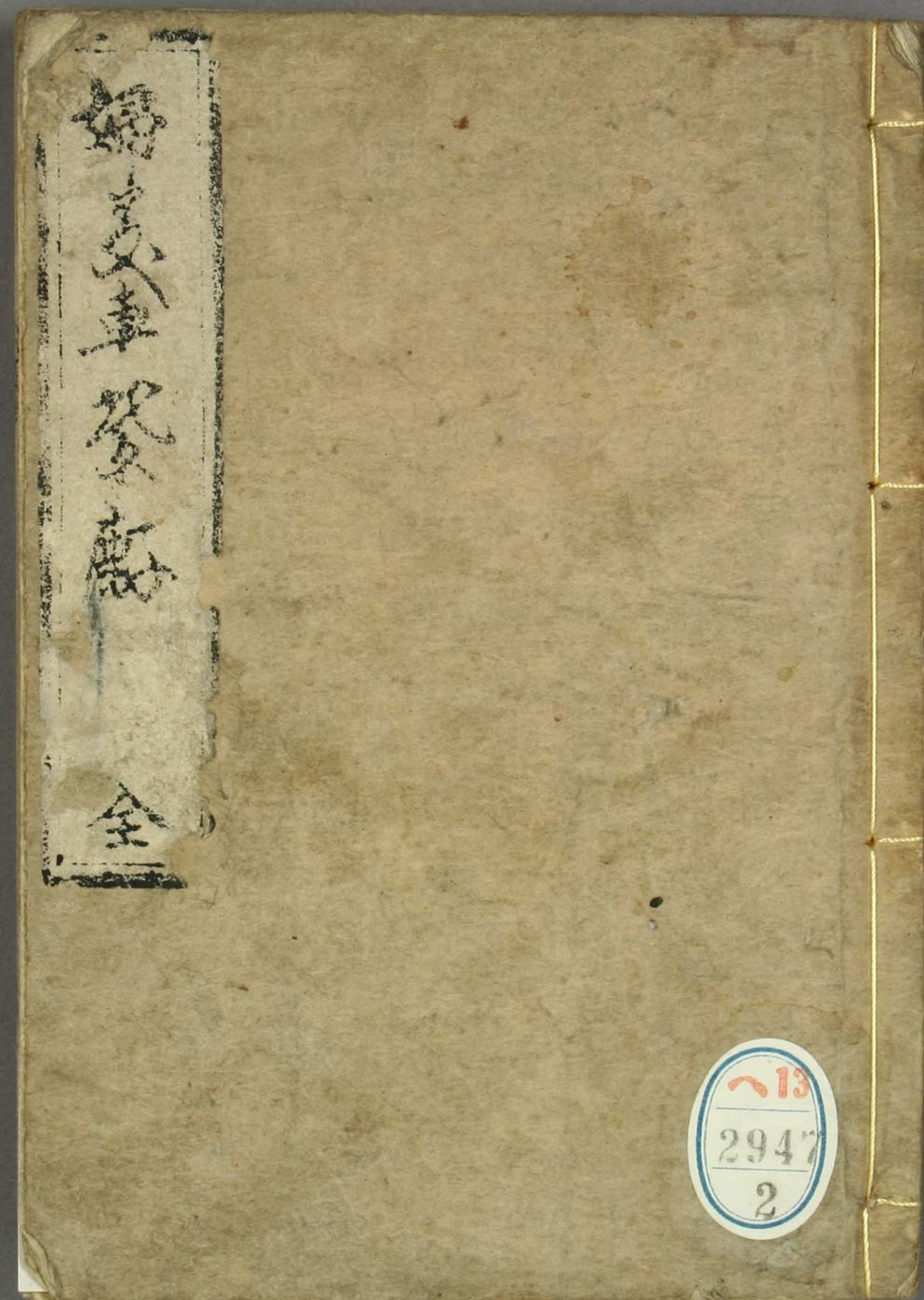

孟子纂疏
全
へ13
2947
2

夫蓋色者志掬之保假與謂諺
實哉考遠異國於夏桀有多輪
戲殷紂有罝掌氣夢相次而周
幽唐玄之有邉羅望復倭朝平
城後鳥羽二帝是皆傾城傾國
之不覺眞偽而得馬鹿之俗況
下下之於四民于哉豈可不懼
矣故先聖禁無自女色大平婦

2
へ13
3009
へ13
2947
2
昭和九年七月一二日
購求

遊婦共深破魔留則者寧受是
等浮名雖然誇今世太平之果
四隅于有遊廓而貴賤重代賤
賓家國於墮落彼一穴于號是
於謂百百之太魂歟因茲當世
戯婦風俗高下之大概記号而
謂婦美車紫鹿與于時安永三
甲午孟春　浮世偏登齋道郎若先生述

艶女の愛智
生妻市の出會　附り神明ぢん記
九還丹　完
弓梅茶屋の限
石川青京丸
夜半の口合
志ちくめの乃ぢ
以上

中臈之傳 并 招婦之弁

中臈といふハ人皇七十六世の帝鳥羽の院の御時源氏の御[illegible]家和歌のおこり[illegible]の[illegible]天地下七方[illegible]今より[illegible]わざびめ[illegible]のおいてと[illegible]おろかぬれて八家の情[illegible]手[illegible]帽子太刀と[illegible]縫の[illegible]姫[illegible]御手[illegible]女[illegible]男[illegible]の一[illegible]

[illegible]女[illegible]女房[illegible]文[illegible]の[illegible]の[illegible]七[illegible]の[illegible]の一[illegible]の[illegible]の[illegible]女[illegible]根[illegible]女[illegible]元[illegible]の[illegible]

生姜市[illegible]

[illegible]のぶん

抑芝飯倉神明の宮と申奉るは人皇六十六代一條の院の御宇寛
弘二年九月十六日に始て御神[illegible]
[illegible]七里[illegible]
[illegible]
四年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]二年[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 舊記曰宣化天皇詔而
為民設于諸國穀倉[illegible]
祭礼は九月十一日より廿一日迄[illegible]
[illegible] 本朝醫方傳曰 薑去穢惡通神明 云々[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

なにしろいおまへこそれしらは往の陰へまかれはごりやす ちかまかりくされ
は浅緑屋より湯のまりし方丈のとらんどうくかきりて これはこれ
掛とうらは本で結ふるおこれかをとこで七つ過より苔ひれ
せやさつしぐ御本中五七が吉原かぐりとおもふおさんせんとみゆ
立よられ 安 おいそのせへおまへおちらへおてらへんで出 陽 もめとい
しみ絵島とつ 茶 アイ夜人分でござりやす あり 陽 そこお日なくらいんさ
なにこおれくと のえかな入 奉行ちへ平内かとと一度掛おふ袖に裏へ身とらうの
備おいまへ分の給仕下品へ身も盗囲の父役安帰お由さんへ白
羽がさ被りへせぐんとのあとせ仙の丸から身ひ着れて白拍子

申しおの出来大夫八ツ時分中橋本町の出で さし立
笑くかをお和哥の吉原で ことさし入 をどりとよ口高き
わめてらすさし町人紺前の風呂屋 お色ととおとまぎれいわ申と共
ゐじが嫁の吉原あとてろよくも小揃 ずらがめてかく 野呂吉原によかけ人け
いかされ 猪 入れるうちてござおふあくらて 大和 ハイはめんなるま
せこうとうろよ女 大和 おかさへ今らいで抑げ花まして 猪 イヤサ とりかりし
そんなむずんらうくれぶんらくと出しがつ 大和 ハイ嵐でございまそん
ちとうる旅のてで用のおずやあ〇さん人がなるむかに私 茶 アイ好も
人がれつで経つるなかのかんせん 大和 ハツ子 ぞうしてもけさの娘が

えやまたにおゝかてされどもゝてかえんやうで絵のと後の分へ揃さるところ 安奈 御さ
あそこをふかうハねかし一切いおあそびのさんせうこやの郷
人ふいてのが此中へ 仮 ことと大和屋一切あそべんあつてやはのる
どア 安奈 アヽ御だしいるぞろうとおりのよそだとあるろ 大和 あるのさ外なにとぞうかせぬか
ひ地内ふ女へくかとどぶうかめん後とひらと思ふれ切ますて一切が七分めうて
でござりまん 仮 てハ三手 そふいふうハ外だもやうへあうかある今の切
乃みで押わいざるアこ通てとよんでとあれ とくさハ申のさのを御よう此さなれへと大へとそうれ
出かけ 仮 是ハ大せ月にむなじやむ縁沢しそこあれ 大和 ハイ御むでござります
すこいけん仕よせう と信ちつて引いでだれ立のゝ木よふんてゐる

一
九蓮宝燈
此書ハ京ハ四条縄手新ふ出の西ハ赤坂内屋
宿ふかゝづる南ハ芝三田麻布ゟ門あわぎりゆハ本郷
あて羽根板橋ふ御ふゆにちと赤坂さ芝道場前ふ窮れ
の谷乃廊 浮名涙集むかし石州の精郷ふ成れあり
白猫のれ天文揺ゐ乃手々へ玉てと歌ふる花鳥神のの
巣せ生る経り乃仕毋まゐんてあ作を九ふ遠巻は
部数あり千人ある兼巨細ふうちる余とあ書
上ふ上をく記 此故ハ喜多ふ生ち
ロゆうえふおるろ

東海道の細見記

平家

新吉原

チヨウ一分
白拍子

馬道

上品中生之段

十分七百文
平家

品川驛
江府西驛之題一

チヨウ一分
白拍子

一ツ目

手ヲ向ヒリ
白拍子
興福院前
但ハ大ヒガシ

上品下生之処　此所ハ仲所ノクヒ
白川ノ所ノ

重衡卿ノ一切ノ志
白拍子
深川御所

右同断

此所ハ大ヒガシ御所ノ中也　同

白拍子
土橋

此所ハ大ヒガシ御所ノ中也　土橋ノウヘニ御所ノ
ヒガシ表ニ

白拍子
長良ノ橋ノ
白拍子
赤城

此所ハ四方陸前ノ地ノ下ニ繋ノ橋
橋長サ長サ
ノ山ヲコトヲ云

拾ヒ
白拍子
麻布ノ川

此所ハ仲所ノ橋ノ下ニ繋ノ川長
ヒロサ　其外金ヒラヒラ

中和上生らるゝ所

益後四つ切
白柏子
深川表櫓

けさ浄土繋の風衣裳色とみえ
仲明と名付らるゝ人かつ拍子者ぶの
ものゝ仲明おかれど

右同り
白柏子
同表櫓

けさ浄土大くらい裳ゆづりのどーそ
和らるゝ同り

右同り
白柏子
同浦鍋

けさ浄土裏ゆづらるゝ浄るう

七ツ半
平家
四谷新宿
江戸四釋
仲三

けさ浄土いやらく今春ゆうしゆ
まを河之田あるひい深川ゆく
ゆうへ入道ゆまぐ風俗さらまうす大
ていいゆ門とゆうあがゆうへ人ゆうづん

益後四つ切
切ゆ半
白柏子
芝神地内

けさ浄土繋の風衣裳色このーーーーーとと
出ゆ似ゆうゆうへ人ゆうゆのゆうゆ家ゆ新ゆ
古ゆ屋ゆうゆ古ゆゆゆゆゆゆ

益六ツ半夜四ツ半
平家
南品驛

益夜四ツ切り
一切七ツ半ト
白拍子
牛込行願寺

中ノ郷生之新

しなの八ヶ郷ノ内
江戸上野山下ノ内

益夜四ツ半
引ケリ
蓮顔 白拍子
深川佃

白拍子
同新大橋

右同断
白柏子
深川新地

十間六間小橋ゟ但長崎の結ひ
ゟ長崎まで人数四拾五人程

盆後四日より
白柏子
深川石置場

十間大ゐ八新地ゟ地ゟ出ごゝ有
長ゐ六ゟ七ゟ

右同断
白ゐ
八幡新宿

十間石場ゟ出ごゝ但人ごゝ同あ

右同断

十間ゟ長崎ゟ人数拾五人程有

白ゐ
天満
築立新地

新地ゟ出ごゝ

十間ゟ人ごゝ八ゟ五人有
石場ゟ築立ごゝ

盆後四日
一切六ゟ
南ノ谷八幡

十間ゟ長崎ゟ人数四人有
石場ゟ築立ごゝ

右同断
外ゟ六ゟ七ゟ
白ゐ

三田同朋町

但ゟ六ゟ七ゟ人数有

右門前の四方白砂なし
大根畑

けふ浅草観音へ参詣あり
この間は参詣の人ぐらぐらと
押合見物あり むかふ次第あり

千ヨシノ間二本
白拍子

けふ浅草観音へ参詣あり
繁昌あり 夜ぐ〳〵おびただしき月明
乃上に新宮殿あり 見物もあり
おびしんよぶこゑ おー
俗に無くもまへふかし 俗説あり

千ヨシノ間二本
白拍子
上野山下
巻軸

けふ浅草観音へ参詣あり
みあり 繁昌あり むかふあらあらく
ちり 衣装あり 綿あり おし物 人今
い 個ふ 新宮殿 けふ 殿 をとり
中へ安 右柳下 けれを ケロ〳〵とし

中ふ下 生之新

けふ新ハ江戸三千三百座
ふ始り 江ふ多 位ふ 作る

巻
孟六下
夜四下
平家

三十三間堂

けさのたいこは伊勢のあぶらうりこの方にて
ものこのみ　おんどをうたうてあるふをとる
なかをんなうしろすがたをあしけれたゞ
ぬ　ぬぎ　ぬぎ　ぬぎ　そろうぐんはあり

四六
平家

音羽町

けさのたいこは乃ふくゝ衣裳大てい三ろ者
ふ　ぬ　す　人ぐ　ゝ　ぬ　ん　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
カゝヤ中ゴヤサドヤゝ　ゝ　ゝ　ゝ

四六
平家

深川八幡町

けさのたいこは大くぬ三間さいかゝ乃ゝ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

平家

新吉原

けさのたいこは大ぐい者ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

平家

麻布田町

けさのたいこは大ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

四六
平家

三田新地

けさのたいこの　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

右内方
手家
谷中いろは

右内方
手家
東布教下

右内方
手家
板橋驛
江戸四驛の第四

右家
浅草ゑび屋

四十八
手家
世尊院前

四十九
手家
根津

四十八
手家
千住驛
江戸四驛の第三

軸

千三角コロリ
平家
朝鮮長屋

千三角コロリ
平家
書翻裏門

金二、長二
平家
品川三丁目

千三角コロリ
平家
万福寺門前

千品上生之部

此屋敷のふうぜんしゃ
柳の下あれす位モ長くと
此屋敷ゑんぎものあるべ
しくうぐ反りんモンモンとよぶ
此屋敷ゑんぎ裏門
此屋敷ゑんぎ裏門ゑんぎ
此屋敷ゑんぎ裏門ゑんぎ
コトナシ

右同
平家
本郷大根畑
千坪

右同
平家
大橋長屋

右同
平家
麻布市兵衛

此屋敷のふうぜんしゃ
ゑんぎ裏門ゑんぎ
まくのどくいらうば
此屋敷ゑんぎ大くいたよび
ぞうり川ハラズ
此屋敷大くい六角堀ぞうぜんよび
ゆかん ゆかんぞうぞうハル

右ハ平家
長田町

下京中堂之部

右ハ平家
安宅屋

右ハ平家
鼎長屋

右ハ平家

平家
磨藤殿下

右ハ平家
清水ゑ屋

右ハ平家
木々九山

右ハ平家
三四郎町

右門内
平家
三田新地

右同
平家
清盛童舞

千手丁
平家
深草場

千日ニ角
平家
高福荷

右門内
平家
四条橋

下ル下ル

千三百半
平家
市谷[illegible]谷

此浄るりは其人命かけ鐵ものなれど
川へはまりまし[illegible]
但し此市谷町といふ所は[illegible]
[illegible]しくいふなれば[illegible]
なが[illegible]へふ[illegible]谷の名あまり

右同断
平家
伊豆[illegible]

此浄るりは[illegible]ちら[illegible]ありたまりま[illegible]
[illegible]し大[illegible]
此浄るりは其人命なく[illegible]
[illegible]四[illegible]四家あり[illegible]人
[illegible]

右同り
平家
本所入江町
外四ハフリ

金三ノ半
平家
吉田町

此浄るり江戸ふるまちもて[illegible]
[illegible]
[illegible]めさずおも[illegible]
[illegible]切[illegible]向[illegible]
[illegible]
[illegible]町[illegible]所[illegible]
[illegible]

右同断
平家
吉田町 一

此浄るり吉田町小[illegible]切[illegible]
但吉田町入江町[illegible]世人[illegible]といふ

あけより
音羽風抜

け浄さし人洋形し 東都にはすり八分

あけより
世尊院家

け浄さ風彼ふちたハりすむし

あけより
平川鈴森

け浄ち去夏ふゆりしおゆきじ中し

ちつき浄ふし 依風彼どうち

チヨシテ 三十一字
平家
井野堀

け浄さ髪のちうき大学是こ形し人

大文字大つへのでしきまうて芝居

八かし病あゐし 役こ形ふてのう

鄉うゆへ浅ゆし へちう鱼風の花

チヨシマコロリ
新稽伏

類 被

永久橋をさ八永代橋の下へこさをとる

けふい三人八丁堀舞ふくへいづる芸人

芝とゑづけて永 ミジム ウトヨフ

け浄さ乃風俗深ふ見ゆ頭巾を浮ぶさ

衣裳八夢乃ごとく手かさち仏参之

モウシモウ とらかと ちつきあり

トヨンて

三鴉冠（コロリ）

いと浄土新大師の教人々を教ゆく
ひさこと世俗ひ教とてルタ[illegible]
しい西天橋出ぞうと神田大工町四町ゆく
くわあんぶ無量寿ようしろ

武人問曰は教白拍子や拍女子や教
て白是白拍子あり是を加い法云雲家の時
大民人道教主版せ[illegible]白拍子と深く親毛[illegible]
は頂新条仏と教人の白拍子[illegible]平相国[illegible]

教ゆ[illegible]仏ふ[illegible]ろう三人の白拍子いと[illegible]と[illegible]ひめ
[illegible]ゆ世を[illegible]浪乃[illegible]
とゆ[illegible]浪乃姿[illegible]
ゆ[illegible]ひ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

女帝買道昊

衣裳（いしやう）

大かたハ[illegible]中くらゐ[illegible]

[illegible]白むく[illegible]

[illegible]入てハ中ぐらゐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

にすべし

髪（かみ）

[illegible]

[illegible]中径をとるむ

[illegible]

大かたハ[illegible]

[illegible]地よし

[illegible]すべし

[illegible]

三[illegible]

[illegible]入[illegible]

[illegible]

露

凡そ女房[illegible]の出して[illegible]手紙[illegible]
あまた[illegible]この[illegible]
[illegible]一物[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]一[illegible]

[illegible]露[illegible]の[illegible]
[illegible]
の[illegible]のんで[illegible]

[illegible]
[illegible]
くれぐれ[illegible]とも[illegible]
[illegible]

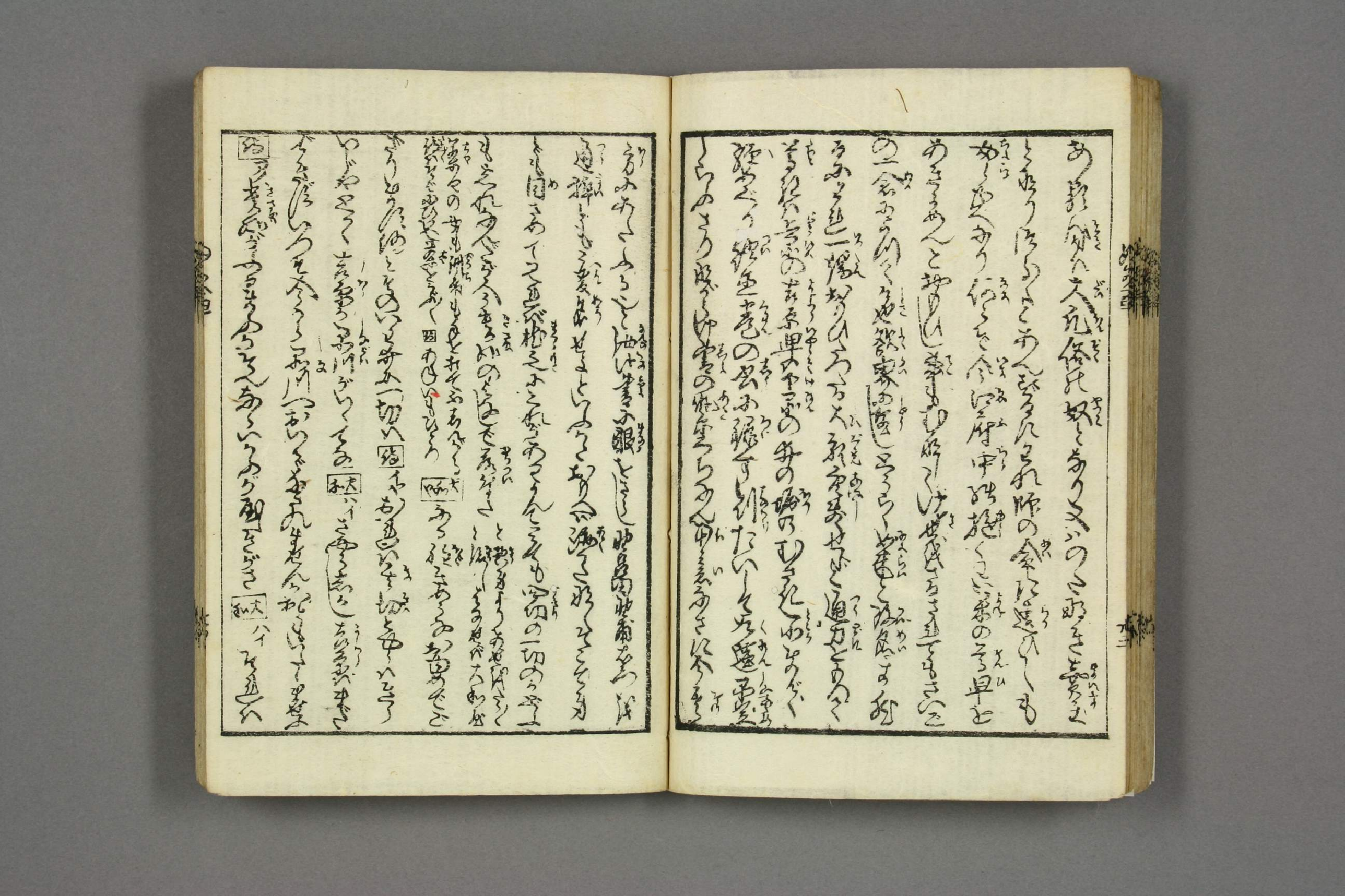
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]一二と

こゝろあてまでのこと

九蓮品定 大尾

〔翁〕ハアテこゝろへ八面志ゆくえそしく縁ともあ申
ふふあんなハ乃着なれ申川東寶でござりまする
ぞやして〔鶴〕きこえたさゝこえたれ候ひさまさんぞ
そなたしがあるタアと候くとしう経もりし申あ
あ経せまも世拙と候へる縁がうすの身にし
秋ものぞまくる銀の十渡須もさ一年ひろ限ぞり

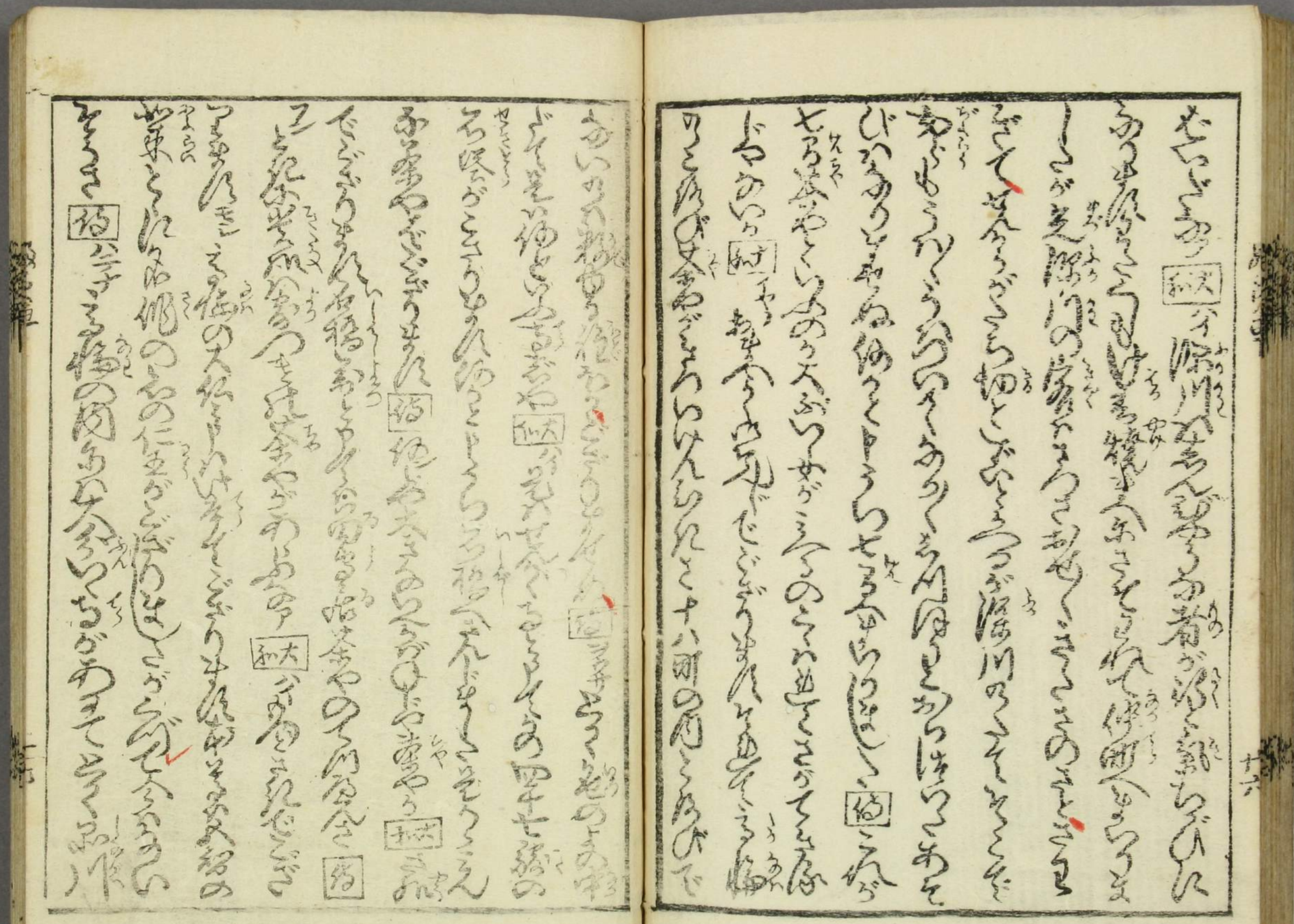
航あしきれたる宏の歩み鉄あてこうんさる
云ゆ申事を持ちちの方みか夏かあらか申ぞとかう
急場とうそいて善哉く銭かこゑし経附
格も断ゑ経ちしき者ありえかくち風宗周縁あ
めく「医学はれ扇ふくゆるしに可開くらしつとの
見るかんさる菊霊の霊むでれた音良よろひる良
手案中可ぞれらみ若獺あそうされ経のはすゆあ
乃武職と彼さ申し師のかいみたがいしゆくふを追
いとこゝ道えるふてら妙くそと風流し法るとるん姓



ほいさらりと一筆かきにかゝられますると くらま屋矢立をとり出して
綿 ちんおやのおぞうりをかりまして出かけくるとおもさよ
とうりくらちうちの大和やもおもて
大和 ちん取つてこの長屋へ組あれは凡そへもどらふのが
またゞおんでんまへ段を夜 見めがさお しらぬりと
ござりませんが日の朝もむかひのとわたまるまして
とらへそてはかゝるやいんりがみかお上部さまの江州へ
てまけたあがるの殿へぞさまとかぞへあるはんぜんて
さよならう 網 ハイうくとかりはなしてまうらの帳ひさんぶ
半紙でいる開市のたばこ紙をされてこころへわたし 大和 サアおもしろうてうちもともとの

さんおやせにでござりますさとさんちやよりおとらしおく
頭から[illegible]大和やもそろく
[illegible]車門とらぞ
[illegible]町と田とお[illegible]の[illegible]
大和 アめかくさんどやうさ 絹 つまそ[illegible]やどや
ああ 大和 ハイ 之[illegible]の[illegible]
のでござりません[illegible]川がそんなら[illegible]
と[illegible]の[illegible] 絹 フウ[illegible]
の[illegible]て 大和 と[illegible]でござりません 絹 や別のるで
も[illegible]の[illegible]川[illegible]とみても
かるとも[illegible]もあるる

だアてあんと如何かといがくまつれ仕ると申すくあるく
大和ニテ あつそうあそこうあそこうあそこ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[廿ノ巻] 寛元元年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

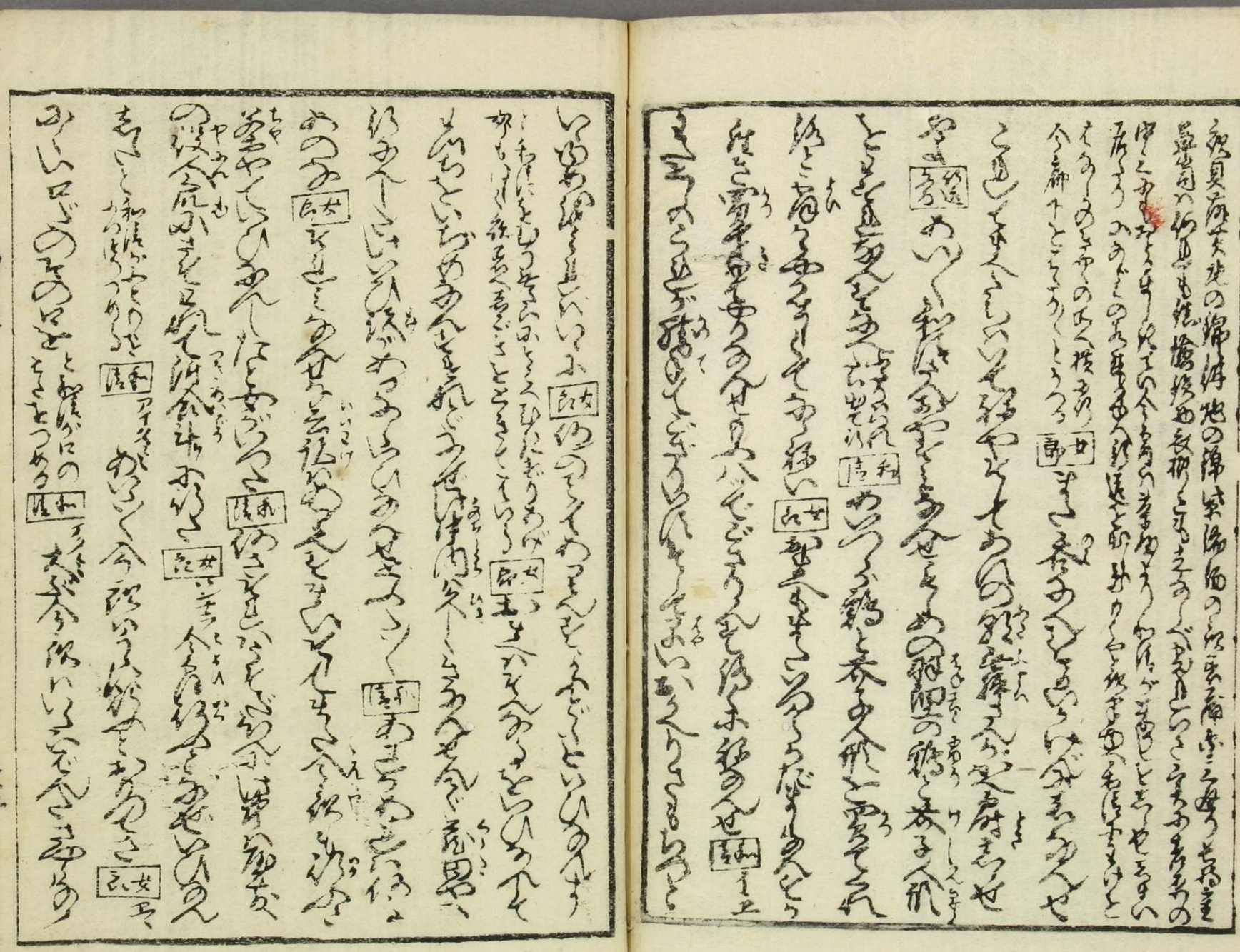
吾川郡の名所旧跡

南山姫雲遠帆歸西と題せし所の川
[illegible]
播州[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



婦美車紫鄰　大尾

歳春　陽月吉日

廓中奇譚　再板

辰巳園　再板

婦美車紫鄙　再板

廓乃大帳　新板

辰巳の園後乃人

閨中狂言

天明九酉春

江戸小舟町三丁目
多田屋利兵衛